

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公表番号】特表 2020-537227 (P2020-537227A)
 【公表日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-051
 【出願番号】特願 2020-518635 (P2020-518635)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 12/06 (2006.01)

G 0 6 F 13/16 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/06 5 5 0 A

G 0 6 F 13/16 5 2 0 B

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 12 月 22 日 (2020.12.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

プロセッサによって、早期書き込み確認応答をサポートするメモリ・アクセス・ブローカを使用するための方法であって、

1 つまたは複数の発行元アプリケーションによって検査するために、失敗した早期書き込み確認応答 (E W A C K) 書き込み要求がメモリ・アクセス・ブローカによって記録されるように、前記メモリ・アクセス・ブローカを選択的に有効化し、前記 1 つまたは複数の発行元アプリケーションへの E W A C K 動作および前記失敗した E W A C K 書き込み要求の通知をすることを含んでいる、方法。

【請求項 2】

書き込み要求の実行時に前記メモリ・アクセス・ブローカを選択的に有効化または無効化することをさらに含んでおり、前記メモリ・アクセス・ブローカが、メモリ・バス・マスタとメモリ・コントローラの間の中間ブローカとして機能する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記失敗した書き込み要求を、前記メモリ・アクセス・ブローカに関連付けられた 1 つまたは複数の E W A C K レジスタに記録することをさらに含んでいる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記メモリ・アクセス・ブローカによって、メモリ・バス・マスタから書き込み要求を受信することと、

前記メモリ・アクセス・ブローカによって、前記メモリ・バス・マスタから受信された前記書き込み要求をメモリ・コントローラに発行することとをさらに含んでいる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記メモリ・アクセス・ブローカによって、メモリ・コントローラから W A C K 応答を受信すること、または

前記メモリ・アクセス・ブローカによって、前記メモリ・コントローラから受信された

前記 W A C K 応答をメモリ・バス・マスタに発行すること
をさらに含んでいる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記メモリ・アクセス・ブローカによって、E W A C K 書き込み要求ごとに書き込み要求識別子 (I D) を生成することと、

前記生成された書き込み要求 I D をキューに配置することと
をさらに含んでいる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記メモリ・アクセス・ブローカによって、メモリ・コントローラから受信された W A C K 応答を前記キューから取り出された生成済みの書き込み要求 I D と比較することをさらに含んでいる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記キューから取り出された前記生成済みの書き込み要求 I D が、前記メモリ・コントローラから受信された前記 W A C K 応答に一致しないということを決定したときに、前記メモリ・アクセス・ブローカによって、1 つまたは複数の E W A C K レジスタ内で失敗した E W A C K 書き込み要求を示すことと、

前記 1 つまたは複数の発行元アプリケーションによって、前記 1 つまたは複数の E W A C K レジスタに記録された前記失敗した E W A C K 書き込み要求を識別することと
をさらに含んでいる、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 1 つまたは複数の E W A C K レジスタ内で示された前記失敗した E W A C K 書き込み要求を識別したときに、前記 1 つまたは複数の発行元アプリケーションに対して各書き込み要求を再発行することを要求することをさらに含んでいる、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

早期書き込み確認応答をサポートするメモリ・アクセス・ブローカを使用するためのシステムであって、

実行可能な命令を含む 1 つまたは複数のコンピュータを備えており、前記命令が、実行された場合に、前記システムに、

1 つまたは複数の発行元アプリケーションによって検査するために、失敗した早期書き込み確認応答 (E W A C K) 書き込み要求がメモリ・アクセス・ブローカによって記録されるように、前記メモリ・アクセス・ブローカを選択的に有効化し、前記 1 つまたは複数の発行元アプリケーションへの E W A C K 動作および前記失敗した E W A C K 書き込み要求の通知をすることを実行させる、システム。

【請求項 11】

構造化されていないテキスト・データからの対人関係の発見および解析のためのコンピュータ・プログラムであって、プロセッサに、

1 つまたは複数の発行元アプリケーションによって検査させるために、失敗した早期書き込み確認応答 (E W A C K) 書き込み要求がメモリ・アクセス・ブローカによって記録されるように、前記メモリ・アクセス・ブローカを選択的に有効化し、前記 1 つまたは複数の発行元アプリケーションへの E W A C K 動作および前記失敗した E W A C K 書き込み要求の通知させるためのコンピュータ・プログラム。